

発行日 平成27年12月 第94号

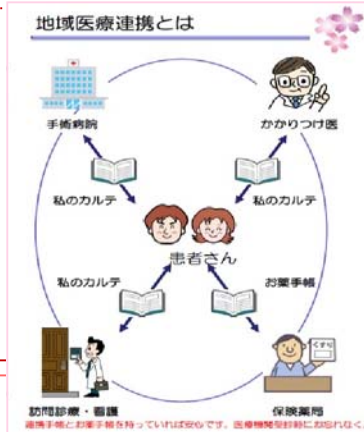
日頃、地域医療連携にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

先日、がん地域連携パス協議会が開催されました。今年度より、「前立腺がん術後地域連携パス」が導入されるため、主にその運用方法について協議を行いました。今回は、がん連携パス協議会の報告事項の一部をご報告いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳

## 第5回 がん地域連携パス協議会の報告

- 日時：平成27年11月24日（火）18:30～19:30  
 場所：横手シャイニーパレス 5F  
 出席者：横手市医師会長、理事、横手保健所健康・予防課主任  
 平鹿総合病院関係者15名 計18名  
 目的：がん地域連携パスの推進と連携の円滑化  
 報告事項：1. がん地域連携パスの運用の現況報告  
 2. 前立腺がんパスの運用について  
 3. その他



### がん連携パスの運用状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（11月）
パスの種類	胃 5件 大腸 1件	胃 4件 大腸 1件	胃 2件	胃 2件 大腸 1件
化学療法の実施	なし	なし	なし	なし
患者の平均年齢	77.8歳	72.6歳	65.0歳	62.3歳
連携医	A Dr 4件 B Dr 2件	A Dr 1件 C Dr 1件 D Dr 1件 E Dr 1件 F Dr 1件	G Dr 1件 H Dr 1件	H Dr 1件 I Dr 1件 J Dr 1件
バリエーション発生	なし	胃 1件（通院先変更）	胃3件（再発1, 通院先変更2） 大腸1件（再発）	胃 1件（通院先変更）

※ 平成24年度～平成27年11月まで、計16件のパスを運用し、現在、10名が継続中しています。

### 前立腺がんパスの運用について

平成27年6月、秋田県がん診療連携協議会より、秋田県共通の「前立腺がん術後地域連携パス」（医療者用・患者用）が届き、現在、当室では、泌尿器科とともに具体的な運用方法について検討を行っています。

今回の会議では、担当医が前立腺がんの現状と当院の治療状況、前立腺がんパスの内容やメリットについて、また、連携室担当者がこれまでの運用経過について、説明しました。協議の結果、前立腺がんパスは簡便なパスなので、泌尿器科医に限らず、一般の内科医へも利用していただけるよう、当院と横手医師会が協力しあいながら、普及を進めていく方針となりました。